

山口大学医学部

霜仁会会報



第302号

令和5年10月発行

発行人 福田進太郎

霜仁会事務局 TEL:0836-22-2029

FAX:0836-31-7586

E-mail:jimu@soujinkai.jp

HP:http://soujinkai.jp/

印刷所 瞬報社オフリン印刷(株)

令和5年度山口大学医学部

関連病院長協議会・総会

令和5年8月6日(日)

国際ホテル宇部「ダイヤモンドホール」において、令和5年度山口大学医学部関連病院長協議会が開催された。去年はコロナ禍の影響で、縮小開催となったが、今年は、4年ぶりに従来の対面形式で開催された。第18回となる本会総会の出席

者は、57関連病院中44病院

長、関連病院管理者・理事長5名、霜仁会会長・担当理事に、オブザーバー参加として、山口県健康福祉部・石丸泰隆審議監、医療政策課・土屋佳彦課長、大道具芽主査、霜仁会理事・事務局長が同席した。

【総会】

武藤正彦会長挨拶…4年

ぶりようやく従来の形式で開催できるようになった。若手医師確保・医師の高齢化など山口県の医療環境は引き続き厳しい状況が続いており、大学・行政・医師会と協力しながら若手医師確保総合対策事業等の手段をすすめている。一定の成果はあがっているものの、未だ十分とは言えない成果である。働き方改革も進んでいる。厳しい状況を打破すべく、有意義な活発な協議会としていただきたい。

報告事項として、令和4年度会計収支報告・監査報告があり、幹事会(令和5年3月28日リモート開催)報告で、本会協議内容の検



討がおこなわれたこと、3名の新幹事・郷良秀典病院長(済生会山口病院)、加藤智栄病院長(山口労災病院)、吉野茂文病院長(関門医療センター)の紹介があった。次いで当日出席の8名の新病院長の紹介と挨拶があった。

協議事項検討…「県内に

どうやって若手医師を確保するか」を中心に協議が行われた。行政側から石丸審議監のご挨拶として、県内の医師平均年齢が全国1位で高く、若手医師確保対策が最重点課題であることが述べられ、県健康福祉部医療政策課の土屋課長から、山口県の取り組みについて、県内への若手医師定着確保対策は高校生から勤務医を対象におこなっており、医学生への医師奨学資金の成果として、138人の医師が勤務を開始している。県内で一貫したキャリアアップ形成を可能とする体制の整備をおこない、医学生・研修医への県内研修体制の魅力発信・アピールしているとの説明があった。医療人育成センター、

山口県地域医療支援センターの黒川典枝教授から、山口県内研修医および山口大学専門研修の現状に関し

て、令和5年度臨床研修医採用予定者数は定員129名でマッチ率75%1000人であり、県内研修医数は97名、山大人局者数55名といずれもここ数年横ばい状態であり、内科入局者数は9名であり減少傾向に歯止めがかかってないと報告があった。さらに、臨床医師確保について山口県健康福祉部大道具芽主査から補足説明として、全国的には外科医の数が増えていないことも問題となっている。専門研修を県内で続けてもらう

には、最初の2年間が重要であり、山口県として人材を大切にしていることをアピールしてもらいたい。内科専門医認定の問題が卒業研修の段階で県から離れる理由になっていると述べられた。県医師会の加藤智栄会長からは、若手医師が都会に流れて行く現状を何とかしなければならぬ、医師会としても山口県を医師の働きがいのある・働きたい県にしようとの模索中であると発言があった。

【医学部臨床系教授との意見交換会】

松永和人医学部附属病院長、篠田晃医学部長、田邊剛医学科長、当日参加の11名の臨床系教授からご挨拶

として、研修医・若手医師確保のために山口県全体の問題として協力したい。若手医師の選択採用枠の外科枠の問題については今後の検討課題としたい。30歳代医師へのアプローチとして県外医師への「里帰り」サポートについても検討する。外科離れ対策に関しては、外科手技基礎トレーニングの早期開始、解剖実習の充実化などをおこなってきて、5年生までは外科志望のモチベーションがたかいたのに、後期研修で外科離れがおこっている。などの話題提供があった。意見交換会では、県内勤務医のモチベーションをたかめるような「国内留学制度」の設立、学生時代から早期に医療現場に接して先輩医師とふれあう機会を増やす工夫、内科専攻医制度の問題、アクティブでない(落ちこぼれ)研修医の問題、緊急医療現場での遠隔医療の可能性など、多岐にわたる意見が述べられ、会を終了した。その後、4年ぶりの懇親会が開催され、盛会のうちに閉会となった。

第3回理事会

令和5年6月16日(金)
19時より霜仁会医学交流会
館3階会議室において、21
名の出席のもと開催され
た。

【報告事項】

- 1. 6月16日(金) 名簿改訂委員会(奥屋)
- 2. 6月17日(土) 一般社団法人鳳陽会第93
回通常総会懇親会(福田)
- 3. 6月21日(水) 山口大学同窓会理事会(福田)

【報告事項】

- 1. 6月1日(木) 医学部長との面談
- 2. 6月6日(火) 太田康晴教授(病態制御
内科学講座)への挨拶(福田)
- 3. 6月8日(木) デジタルWG(矢賀)

- 4. 6月22日(木) 北九州支部会(福田、黒川、高見教授)

5. 7月3日(月) 宇部支部会(福田)

6. 7月8日(土) 大阪支部会(福田、西崎、吉野)

【審議事項】

- 1. 名簿広告について、2
023広告依頼業者一覧
を基に担当理事を決め、
広告掲載について依頼が
あった。
- 2. その他
・中京支部総会及び岡山
支部会の出席予定者を確
認した。

第52回霜仁会学術振興賞

本賞

「中皮腫モデルマウスにおいて免疫療法を併用した局所放射線療法後の手術療法は抗腫瘍免疫応答を最大化する」

山口大学医学部附属病院 第一外科

村上 順一
(自治医科大学医学部 平16年卒)



この度は由緒ある霜仁会学術振興賞本賞を賜り、大変光栄に存じます。ご選考いただきました学術選考委員の方々により御礼申し上げます。私は山口県下関出身で、平成16年に自治医科大学医学部を卒業し、山口県立総合医療センター、下関市立角島診療所、柳井市立平郡診療所、美祿市立病院に勤務し、平成25年に山口大学医学部第一外科に入局しています。霜仁会会員の皆様には僻地勤務時以来、県内至る所で大変お世話になっております。受賞論文は平成29年から2年間留学しましたトロント総合病

院胸部外科で行った悪性胸膜中皮腫(MPM)に対する新規集学的治療に関する研究です。MPMはアスベスト曝露により発症する悪性腫瘍で、外科療法、放射線治療、化学療法による積極的な治療にもかかわらず、非常に予後不良です。トロント総合病院で開発された局所放射線療法(LRT)、臨床ではTRC)後の根治的手術を行う臨床プロトコルは他の集学的治療と比較して生存期間を延長させましたが、依然として遠隔再発が多い状況です。LRTは抗腫瘍免疫応答を誘発しますが、制御性T(Treg)細胞によって作られる免疫抑制性微小環境でその抗腫瘍効果が制限されます。そこで私は免疫調整薬であるインターロイキン15スーパーアゴニストであるIL-15SAと糖質コルチコイド誘発性腫瘍壊死因子受容体関連タンパク質(GITR)アゴニストであるDTA1をLRTと組み合わせ、その相乗効果を検討しました。IL-15SAはLRTによって誘導された腫瘍特異的記憶CD8陽性T細胞の増殖を全身と腫瘍局所で促進するものの、同時に腫瘍微小環境におけるTreg細胞を活性化させ、抗腫瘍効果を制限させることがわかりました。そこでTreg細胞を選択的に枯渇させることができたDTA1を使って、IL-15SAを併用したLRTに対するDTA1の上乗せ効果を実証しました。さらにIL-15SA/DTA1を組み合わせたLRT後の照射腫瘍切除はLRTの抗腫瘍効果を最大化させ、遠隔中皮腫モデルマウスでアプスコパル効果を証明し、研究報告しました。

最後にになりましたが、日頃よりご指導をいただいている濱野公一先生に深謝いたします。また田中俊樹先生ならびに医局員から数多くのご助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

令和5年度 霜仁会賞募集のお知らせ

第53回 学術振興賞
第43回 社会活動部門賞

- 1 今年も霜仁会賞を募集しますので奮ってご応募下さい。
- 2 応募〆切 令和5年10月31日 (消印有効)
- 3 詳しくは、霜仁会ホームページ(<http://soujinkai.jp/>)を参照して下さい。不明な点は霜仁会本部にお問い合わせ下さい。TEL(0836)22-2029

第4回理事会

令和5年7月21日(金)
19時より霜仁会医学交流会
館3階会議室において、21
名の出席のもと開催され
た。

令和5年度 霜仁会賞募集のお知らせ
第53回 学術振興賞
第43回 社会活動部門賞
1 今年も霜仁会賞を募集しますので奮ってご応募下さい。
2 応募〆切 令和5年10月31日 (消印有効)
3 詳しくは、霜仁会ホームページ(http://soujinkai.jp/)を参照して下さい。不明な点は霜仁会本部にお問い合わせ下さい。TEL(0836)22-2029

奨励賞

「RV2の安定化による右室機能の維持、心室性不整脈発症の軽減、および肺高血圧症の予後の改善」

JCHO徳山中央病院 循環器内科



田中 慎二
(平27年卒)

由の一つとして慢性的な圧力過負荷による右室機能障害に対する治療法がないことが挙げられます。

この度は荣誉ある奨励賞を賜り、大変光栄に存じます。私は平成27年に山口大学を卒業し、矢野雅文教授が主宰されていた山口大学器官病態内科学講座(第二内科)に入局致しました。大学院に入学後、心臓リアノジン受容体(RV2)の安定剤であるダントロレン(DAN)による肺高血圧症(PAH)への治療効果についての研究を開始致しました。

PAHは近年ホスホジエステラーゼ5阻害剤、エンドセリン拮抗薬、プロスタグランジンからなる3剤併用療法により予後は改善しておりますが、進行した右室不全の患者の予後は依然として不良です。その理

果をPAHに応用したもので、モノクロタリン誘発性PAHラットモデル、および肺動脈縮窄PAHラットモデルで効果を検証しました。結果、DAN投与により右室肥大、拡張、および機能低下が抑制され、生存率を有意に増加させました。また右室単離心筋においてはRV2からのCaMの

解離を防ぎ、それによってCa_vの漏出を有意に抑制しました。さらにエビネフリン投与による心室頻拍誘発試験においても心室頻拍が完全に抑制され、不整脈への有用性を示しました。以上より右室心筋の機能改善、不整脈の予防、さらには予後の改善にDANが効果的である可能性を示しております。肺高血圧症の新たな治療戦略として臨床的に大変有意義であると考えております。

最後にになりましたが、ご指導を賜りました矢野雅文教授、山本健教授をはじめ多くの先生方に厚く御礼申し上げます。今後ともご指導・鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

藤生賞

「門脈圧亢進症を伴う非代償性肝硬変患者の生命予後延長を目指した臨床研究」
物・内視鏡・IVRによるトータルマネジメント」

山口大学大学院医学系研究科
消化器内科学講座(第一内科)



石川 剛
(平12年卒)

中で、その面白さ・奥深さに魅了されていたのも事実です。また、先の見えない荒れ果てた道を一緒に歩んでくれる奇特な部下たちに恵まれたの言うまでもなく、日本一(?) 厳しい指導に耐えてサポートし続けてくれた我がグループメンバーに書面をもって感謝の意を表したいと思えます。

長期にわたる継続的な業績をご評価頂き、このたび荣誉ある霜仁会学術振興賞(藤生賞)を受賞いたしました。ご推薦頂きました高見太郎教授、そして入局以来20余年にわたり叱咤激励を賜りました沖田極名誉教授・坂井田功名名誉教授に深謝申し上げます。

大学院時代4年間と米国留学時代2年間の計6年間基礎研究に没頭していましたが、2009年の帰学を機に臨床主体の業務に従事したい旨を(当時の)坂井田教授に上申しましたところ、「10年後を見据えて、新たな領域の開拓と新たな技術・学術の確立を目指す」という目標を掲げ、学術の確立を目指す道にデータを集積していく

ハイポリウムセンターのマジョリテイに対して、真っ向から直球勝負をしても到底敵う筈がありません。地方大学のマイノリティらしく変化球を駆使しながら、Clinician Scientistの道を究めていく所存です。縁あって私の元に漂着された患者様に質の高い「おもてなし医療」を提供する中で、独自の観点から新しい何かを見出しそしてそれを世間に発信することが出来れば、私にとってはこの上ない喜びです。

門脈圧亢進症領域の新規開拓から10余年:「技術と学術の二刀流」を達成すべく、これまで以上に一層精進して参りますので、今後ともご指導・鞭撻頂きますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

就任挨拶

教授就任のご挨拶

新任教授

山口大学大学院医学系研究科
病態制御内科学講座

教授 太田 康晴



この度2023年7月1日付で福島県立医科大学法医学講座の教授を拝命致しました。原田一樹と申します。この場をお借りして霜仁会の先生方に一言ご挨拶を申し上げます。

令和5年6月1日付で山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座教授並びに附属病院第三内科長を拝命いたしました。太田康晴と申します。着任にあたり、霜仁会の諸先生方に謹んでご挨拶申し上げます。

私は京都府北部で生まれ育ち、山口大学医学部に入学しました。医学部バレー部に所属し、九州山口医科大学学生大会を山口大学が主催した時のキャプテンを務めておりました。バレー部での経験は、「何事からも逃げない」という私のスピリッツを築いたといっても過言ではないと思っております。平成6年に卒業し、山口大学医学部第三内科に入局すると同時に大学院へ入学しました。1年間、病棟

により時計遺伝子の糖代謝における役割の一端を解明できたと考えております。

時計遺伝子の研究は継続しながらも、その研究から少し派生し、「代謝」という側面から臨床研究、基礎研究を展開していこうとも考えております。当科の血液

グループ、基礎講座、他の臨床講座とも連携を深め、そのつなぎ役になればと思っています。

私は、平成25年から8年間にわたって、医局長を務め、附属病院を含めた山口県における糖尿病・内分泌疾患、血液疾患の診療を人面からも支えてきたと自負しております。今後は実臨床においても、医局を引っ張っていく存在になるべく、また世界に誇れるような研究成果を山口から発信していくべく精進していく所存です。医局だけでなく霜仁会がますます発展していけるように少しでも力になれればと願うばかりです。

最後にありますが、霜仁会の先生方には、引き続きご指導ならびにご鞭撻を賜りますよう、これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

就任挨拶

教授就任のご挨拶

新任教授

福島県立医科大学医学部法医学講座

教授 原田 一樹



この度2023年7月1日付で福島県立医科大学法医学講座の教授を拝命致しました。原田一樹と申します。この場をお借りして霜仁会の先生方に一言ご挨拶を申し上げます。

なり、卒後法医学者になるためには病理研修が必須である米国で研修を行うべく、準備を開始しました。沖繩の米国海軍病院で1年間勤務して医療現場での英会話能力を磨き、臨床医学への理解を深めるために山口大学医学部附属病院の先進救急医療センターで2年間臨床医として働きました。そしてその間に米国の医師国家試験に合格して2002年に渡米しました。米国では、ニューヨーク州のアルバート・アインシュタイン医科大学付属モンテフィオーレ医療センターで4年間の病理レジデント研修を行い、ニューメキシコ州の監察医事務所です。1年間の法医病理フェロー研修を修了しました。フェロー研修では銃創事例の解剖を多く執刀して実務経験の幅を広げました。帰国後は、東京大学の講師を経て2011年からは防衛医科大学校の准教授として勤務してお

りましたところ、今回の異動となった次第です。ちなみに東日本大震災時には、福島県で2回にわたって震災犠牲者の検案業務に従事しましたので、福島には不思議な縁を感じています。日米で法実務を積み重ね、様々な人々との出会いがあった結果、法医神経病理を専門として実務と研究を行っております。解剖で得られたヒト剖検脳を用いて、頭部外傷を受けた脳の変化を神経病理学的手法で解析しています。現在は、年齢別の硬膜構造に着目して、特殊な小児頭部外傷（中村I型など）の病態解明を開始したところです。また、法医学者としてはまれなキャリアパスを利用して、福島県立医科大学の国際化推進にも貢献したいと考えています。

宇部には実家があり、山口大の救急医学同門会にも所属しておりますので、山口とは現在も強い繋がりがあります。霜仁会の先生方には今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

学内報告

キャリアナビゲーション

山大的開催

山口大学医学部附属病院 医療人育成センター研修 医・専門医支援部門では、令和5年6月1日(木)、2日(金)に山口大学医学部附属病院オーデトリウムにおいて進路説明会「キャリアナビゲーション『山大』を開催しました。



本事業は、山口大学で臨床研修や専門研修を行う魅力や医学部や研修医の皆さんに伝え、将来の山口県の

地域医療を支える若手医師をひとりでも多く定着につなげることを、また、参加者にとって進路選択の契機や生涯のキャリア形成の足がかりとなることを目的に開催しています。今年度は25診療科等がブース出展し、2日間で延べ84名の参加がありました。

各診療科のブースでは、各科の研究の特徴や研修教育体制、専門医資格の取得を含めたキャリアサポート体制等について、指導医の先生が分かりやすく丁寧な説明され、様々な情報交換があり、会場は至る所活気にあふれていました。

医療人育成センターブースでは当院プログラム所属の研修医と学生が自由に話せる場が用意され、研修に関する様々な疑問や研修医生活の実態などについて話し、非常に有意義な時間となったようです。

参加者アンケートでは、「キャリアプランの具体例を示して頂け、イメージが

湧きやすかった。」「働き方やキャリア形成についてよく聞くことができよかったです。」「専門医制度や医局の雰囲気を知れて、より希望科への興味が深まりました。」などの声をたくさんいただきました。

ご多用の折、ご出展いただきました各診療科の先生方やご後援をいただきました医学部医学科同窓会霜仁会様にこの場をお借りし心よりお礼申し上げます。

今後とも一層充実した説明会となるよう努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

(医療人育成センター スタッフ一同)

准講会会長就任あいさつ



准講会会長 木田裕之

こんにちは。この度、前会長の山口道也先生の任期満了に伴い会長に就任致しました神経生理学講座の木田裕之と申します。学生から面と向かって「先生って自由人よね(笑)。」などと指摘される私などは「会長」という柄ではないのですが、折角の機会なので引き受けました。山口大学医学部准講会は、会員による教育および研究活動の推進ならびにこのための大学運営の改善を図り、会員相互の親睦に寄与することを目的とした会となりまして。といっても大したこととしてはおらず、今後も副会長・宮崎睦子先生、会計幹事・山口道也先生、吉村安寿弥先生らの助けを借りながら、無理のないように運営してゆくつもりです。

毎月の定例会では、先生方からの教授会オプザーバ―報告を読み上げ(病院運

営審議会の事はサツパリですが)、自由に好きな事を話す感じですよ。30分で終わるように心がけておりますので、時間の都合がつく方は是非ご参加ください。先日はコロナ禍で毎年中止になっていた納涼会も再開しました。普段はなかなか会えない先生たちもご参加いただき、楽しい話ができたとでも良い会でした。准講会運営は面倒、やりたい人がやっていると恐れられがちですが、こういう機会に親睦を深めて頂き、多くの先生方が普通に携われる会であって欲しいと思っております。私の任期は最長2年ですので、改善できるところは改善し、残すべきところは残し、次の会長にバトンを引き継ぎたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

名簿改訂のお知らせ

霜仁会では、現在同窓会名簿を作成しています。会員の皆様には個人データの現状確認と名簿掲載の可否についてご協力いただき有難うございました。名簿は令和6年1月以降、会費納入者へお届けします。

教室紹介

臨床薬理学講座 (薬剤部)

臨床薬理学講座では、第4代教授として北原隆志教授が2018年に就任され

ました。北原教授は山口大学医学部附属病院薬剤部の部長も併任しており、臨床・研究・教育の3本柱を中心に教室運営を行っております。

薬剤部は、薬剤師は59名、事務スタッフ6名(令和5年7月1日現在)が所属する大所帯の組織です。

これらメンバーと共に最適で安全な薬物療法を提供することを目標に日々活動しています。現在は、調剤部門、製剤部門、試験・研究部門、薬品情報部門などの薬剤部内の部署だけでなく、全ての病棟や手術部、患者支援センターなどにも薬剤師を配属し、病院内全体における薬物療法の適正化を推進しています。さらに最近では、感染対策チームや緩和ケアチーム、褥瘡ケアチームなど他職種と連携したチーム医療にも積極的に参画しており、一昔前の「薬剤部に籠もっていた

「薬剤師」から「顔が見える薬剤師」へと大きく変貌を遂げています。

近年は、医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト・シェアの重要性が叫ばれています。医師に偏在している業務の一部を移管したり共同で実施するタスクシフト・シェアを推進するために、薬剤師が行う業務の効率化が必要不可欠です。そこで我々の薬剤部では、薬剤部内のデジタルトランスフォーメーションを推進しています。最近では自動散剤調剤ロボットを導入し、調剤業務の機械化を積極的に進めています。さらにバーコードを用いた調剤鑑査システムを導入するなど、医療安全を高める工夫も行っております。これら先進的な取組みを実行し、薬剤師業務の効率化を進めることで、病院運営に今まで以上に貢献して参る所存です。

我々の講座は教員2名体制で薬剤部所属の薬剤師と共同して研究活動を実施し

ています。基礎・臨床研究を通して、我々が掲げるミッションである「最適で安全な薬物療法の提供」を実現するためのエビデンス創出を目指して研究活動に取り組んでおります。基礎研究では新規抗菌薬輸送キャリアの開発や、microRNA測定を基盤とした薬剤性肝障害検出アルゴリズムの構築を行っています。臨床研究では、各診療科の先生方と共同して、薬物療法における有害事象発現リスク因子の探索や薬剤師業務展開による患者アウトカム改善効果の検証などを行っています。さらに近年では、データサイエンスを取り入れたE-silico研究にも力を入れています。リアルワールドデータと呼ばれる医療ビッグデータには、未だ解き明かされていない臨床疑問を解決するためのデータが眠っています。それをデータサイエンスで見つけ解き明かす「リアルワールドデータ研究」を我々の研究室では推進しています。特に、有害事象自発報告データやレセプトデータなどのビッグデータを用いて、未知の有害事象シグナルの検出や薬剤性有害事象のリスク定量化などに挑戦してお

り、いくつかの研究はすでに論文文化に繋がっています。我々が推進するリアルワールドデータ研究は令和5年度山口大学基金若手研究者による研究プロジェクトに対する支援事業に採択していただき、更なる研究の発展を目指して日々研究に取り組んでおります。

現在我々の講座には4名の大学院生が在籍しており、薬剤師のキャリアアップの一つとして博士課程進学を積極的にサポートしています。さらに学部教育においては、医学科の臨床薬理学や自己開発コース、修学論文チュートリアル、機能系実習を担当しています。保健学科では2年次に

行う臨床薬理学を担当しています。特に自己開発コースでは、将来のPhysician-Scientist養成を目指して、研究に対する基本姿勢から論文受理までの「研究の作法」を習得し自己で実践できることを到達目標として指導しています。また、山口東京理科大学薬学部や近隣大学の薬学部生の実務実習の受け入れも積極的に行っており、実践力を持った薬剤師の養成にも力を注いでいます。

薬剤師業務が広域化・高

度化する現在において、常生方には、引き続きご指導に最適で安全な薬物療法を提供し続けられるよう、こうよろしくお願い申し上げます。

(岡田直人・北原隆志)



病院紹介

美祢市立美東病院



院長 たけ 竹 なか 中 かず 一 ゆき 行 先生

この度は霜仁会会報へ病院紹介をさせていただく機会を賜りまして誠にありがとうございます。霜仁会の先生方には平素よりご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。また山口大学医学部各講座から、多大なるご支援とご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

病床数は、1000床で、一般病棟60床（その内地域包括ケア病床16床）、療養病棟40床です。常勤医師は、消化器内科4名、総合内科1名、外科1名の6名で、あとは整形外科顧問医師と山口大学医学部附属病院から非常勤医師（消化器内科、循環器内科、血液内

分泌内科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、婦人科）を派遣していただいております。現在常勤医師のうち3名が定年退職後の再任用で働いてもらっており、医師の高齢化、医師不足が問題となっております。

このため医師負担軽減として当直の多くを山口大学医学部附属病院の医師にお世話になっております。改めて山口大学の各医局の先生方に心よりお礼を申し上げます。当院は、美祢市の東側にあり、近くには秋吉台、秋芳洞などがある中山間地域にあります。そのため患者さんのほとんどが美東町、秋芳町の住民です。この地区（美東町、秋芳町）では、人口減少・高齢化がすすみ、平成2年時人口13,890人いましたが、現在8,300人前後となり、65歳以上が49%、75歳以上が28%と高齢化率が高くなっております。このため、外来患者も平均年齢が76歳前後と高くなってまいり、一般病棟入院患者の平均年齢は82歳前後、療養病棟入院患者の平均年齢は88歳前後となっております。この地域で生まれ育った人々は高齢になって、子供さんがいる他地域に移住される方が多く、そのため高齢独居や、高齢夫婦世帯が多くなっています。この現状をふまえ、送迎車を活用したり、訪問診療で患者宅へ出向くことを多くして、



患者個人の実情に合わせた医療を提供しています。令和5年4月から院内に訪問看護ステーションが移動してきたことで、気になる外来患者の情報を密に連絡しあつて診療しています。連携の良さは、中小病院ならではの強みだと思います。現在常勤医に消化器内科医が多いため、消化器疾患の診療や内視鏡検査に強みがあります。この強みを生かしつつ、ありとあらゆる病気に初期対応していただいております。ただすべての傷病に対応することはできませんが、当院を足掛かりに専門的な医療機関を紹介し、専門的治療後にはまた地域に戻って治療を継続することができるよう。これが地域の住民のための「地域医療」のあるべき姿の一つではないかと思ひ、地域住民にとつてよい病院であり続けられるよう、職員一丸となつて精一杯頑張つてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定
医学・看護学専門書店》

井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]
http://www.mm-inoue.co.jp



Better Health,
Brighter Future

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

国際ホテル宇部

☎0120-375931
山口県宇部市島1丁目7-1
http://www.kokusaihotel-ube.co.jp

印刷を企画から在庫管理・発送まで

一括サポート!

まずはお気軽にご相談ください。

瞬報社オフリン印刷株式会社

[本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地
TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912
[営業所] 広島・下関物流センター



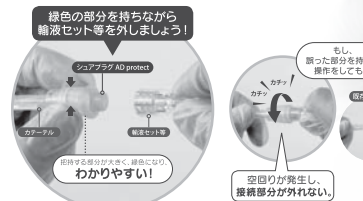
世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

 第一三共株式会社

誤操作による接続部外れリスクの低減のために

シエプラグ™ AD protect



一般名: 精製カゲアール高アキザリシート 販売名: シエプラグAD 医療機器目録番号: 229AA02X0004

テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

記載されている社名、商標名等は、テルモ株式会社およびその子会社の商標または登録商標です。 ©テルモ株式会社2020年5月

山口大学医学部霜仁会の 会員総合補償制度

団体割引*が適用されるため、
保険料が**割安**です!!



※団体割引は毎年変動する可能性があります。
本チラシに記載の団体割引は、2023年4月1日～2024年4月1日までに
保険始期のあるご契約に適用されます。

中途加入受付中! 中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと
翌月の1日が補償の開始日となります。

産業医等活動保険にもご加入できます!
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

地震や日常生活による**ケガ**
携行品 賠償責任を補償

団体割引 **5%**

傷害補償

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。
- ◆(地震 噴火 これらによる津波)によるケガも補償します。
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

会員総合補償制度の
おかげで安心して
医療に従事できます

万一の医療事故を補償

医師賠償責任保険
(勤務医向け)

団体割引 **20%**

働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

所得補償

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、
先生方の所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

所得補償、団体長期障害所得補償
どちらも加入することをおすすめします。

万一の**がん・病気・ケガ**を補償

団体割引 **10%**

がん補償

- ◆がんと診断確定されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日でも補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

医療補償

- ◆病気だけでなくケガによる入院も補償されます。
- ◆入院保険金は入院1日目から補償されます。(限度日数あり)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

長期間働けなくなった時の
収入を補償

団体割引 **10%**

団体長期障害所得補償

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先生方の所得を
補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

突然**介護**が必要になった時に
保険金をお支払

団体割引 **10%**

介護補償

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用と診断され
その状態が90日を超えて継続した場合
いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払いたします。

詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

| | |
|--|--|
| <p>お問合せ先・取扱代理店</p> <p>株式会社パイオニア (平日)午前9時～午後5時 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル3階 TEL: 0120-010-938 FAX: 0120-921-051 http://www.pioneerltd.com yamadai@pioneerltd.com</p> | <p>引受保険会社</p> <p>東京海上日動火災保険株式会社 (担当部) 医療・福祉法人部 東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014 TEL: 03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp 募集文書番号: 2023年2月作成 22TC-101637</p> |
|--|--|

いついかなる時も、いちばんそばに。

To Be a Good Company



東京海上日動



**ANA
CROWNE PLAZA®**
AN IHG® HOTEL
UBE

ANAクラウンプラザホテル宇部
〒755-8588 山口県宇部市相生町 8-1 Tel:0836-32-1112(代)

医療関連事業
疾病の診断から治療までを担う



ニュートラシューティカルズ関連事業
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬

<https://www.otsuka.co.jp/>

病理組織・細胞診検査 動物実験研究用病理標本作製



地域医療に貢献し、 共に発展する検査センター

登録No.100号の登録衛生検査所として病理検査部門の検査を行っています。各種臓器の生検、手術標本はもちろんのこと、研究用試料も扱っています。また、細胞診検査においても各種検体を扱っています。

責任が持てる標本作り

最新の設備を導入し、それらの機器は常に管理され、運用されています。ステップ毎に管理された行程は、日々の仕事を円滑にし、精度の高い検査情報として提供致しております。

すばやい対応・迅速・正確

持ちこまれた検査物は大事なお客様です。検査別、材料別に適した処理を迅速に行います。受付から結果報告まで一貫したシステムで対応しております。

標本が教科書

細胞診では毎日の業務の積み重ねがよりよい結果をもたらします。より豊富なコメントと診断精度の向上に日夜努力しております。

検査項目

- 細胞診：婦人科
- 細胞診：一般（呼吸器・泌尿器・体腔液・その他）
- 病理組織診断：各種臓器の病理組織検査
特殊染色（免疫染色法を含む）
ER、PgR、HER2染色法
- 研究用病理組織標本作製
※詳細は検査案内書参照

結果報告

- 受け取りから結果報告まで
細胞診：2～3日
病理組織診断：3～4日
（脱灰脱脂や特殊染色が必要な場合は多少時間がかかります）
※お急ぎの場合はその都度対応いたします

組織、細胞診検査の集配業務行っております。

各種依頼用紙、試料瓶などはご一報頂ければお届けします。新規の医療機関でもお電話頂ければすぐに伺います。

※詳細は検査案内書を参照してください。検査料金は当センターの検査料金規定によります。

(社)霜仁会検査センター

〒755-0046 宇部市南小串1丁目2-11 霜仁会医学交流会館2F
TEL 0836-31-7510 FAX 0836-31-7590

ニューフェイス

卒後臨床研修を振り返って

山口大学大学院医学系研究所 放射線医学講座

清山遥加

私は山口大学を卒業後、東京医科大学病院で初期研修を行いました。西新宿駅に直結した便利な立地で、初期研修医は100名弱の中規模の大病院でした。新型コロナウイルスの流行で、担当患者数の減少や発熱外来のひっ迫、外出の制限など研修や実生活に大きな影響がありました。今となれば貴重な経験になりました。

初期研修では救急車の初期対応や全身麻酔の導入など、初めは自分にはできないと思うようなことでも、先生方のご指導や同級生とのディスカッション、毎日繰り返し行うことで少しずつできるようなことが面白かったです。勉強会も頻繁に開催され、手技や病棟の初期対応、鑑別疾患の考え方など幅広く学ぶことができました。

放射線科のローテーションでは、画像診断で得られる情報の多さに魅力を感じ



卒後臨床研修センター長の送別会

求められるものも増えまし

私は山口大学を卒業後、山口大学医学部附属病院で初期臨床研修を行いました。学生時代の臨床実習を通して産婦人科領域に興味を持ち、学生の頃から産婦人科に進むことを決めておりました。そのため研修は小児科・産婦人科・周産期コースを選択しました。学生の頃とは異なり、診療に責任を伴う立場になり、身の引き締まる思いで研修生活が始まったのを覚えています。初期研修の最初の2ヶ月間は大病院の産婦人科で研修しました。当時、既に山口大学産婦人科に入局を決めていたので、先生方が手厚くご指導してください、様々な処置や診療に携わらせていただきました。その後は、協力病院とのたすき掛け研修で内科・外科や救急外来の当直業務を経験しました。



手厚く指導を受けているのが末田です。

職業を志す友人たちの考え

「合格」を知り人生でも喜んだ瞬間を迎えた後、期待と緊張を胸に出席した入学式の日を昨日のこのように思い出します。山口大学に入学してからの半年間、大学での慣れない生活に頭を悩ませながらも、大学で新しく出会うもので充実した毎日を送ってきました。特に、新たな友人や先輩方の存在は私に大きな影響を与えてくれます。

今後も少しでも多くの患者さんのお力になれるよう日々研鑽を積んで参りたいと思います。

入局して2年目になり、日々放射線科の先生方のご指導の下読影力の向上に励んでいます。

私は山口大学を卒業後、山口大学医学部附属病院で初期臨床研修を行いました。学生時代の臨床実習を通して産婦人科領域に興味を持ち、学生の頃から産婦人科に進むことを決めておりました。そのため研修は小児科・産婦人科・周産期コースを選択しました。学生の頃とは異なり、診療に責任を伴う立場になり、身の引き締まる思いで研修生活が始まったのを覚えています。初期研修の最初の2ヶ月間は大病院の産婦人科で研修しました。当時、既に山口大学産婦人科に入局を決めていたので、先生方が手厚くご指導してください、様々な処置や診療に携わらせていただきました。その後は、協力病院とのたすき掛け研修で内科・外科や救急外来の当直業務を経験しました。

末田充生

専門研修に向けて

山口大学医学部附属病院 産婦人科

ジエネシス

大学生生活の現状

医学科 一年 河野 椋



一人ひとり異なっており、友人から新しい気づきを得ることは多いです。ゆえに、彼らと将来について語り合ったり、講義で医療が抱える問題についてディスカッションしたりすることを通じて、自分の考えを洗練し自分の視野を広げることができています。そして、その度に友人の存在の大きさに気付かされます。

楽しく豊かにすることにながっていると感じています。また、同じ医師という職業を志す友人たちの考え

印象的です。新型コロナウイルスの影響を受けた高校時代、こういった体験を満ちたにすることは難しかったため、私にとって新鮮なものでした。大学では部活動を存分に味わい、忘れることのない思い出を作ることができると考えると胸が高鳴ります。

山口大学に入学後から現

医学祭に向けて

医学科 四年 足立大地



この度第78回医学祭にて実行委員長を務めさせていただきます。医学科4年の足立大地と申します。今年度も医学祭が開催でき、心から感謝申し上げます。関係各位の皆様ご理解・ご協力誠にありがとうございます。

さて、昨年の医学祭は皆様のご支援・ご協力を賜りまして素晴らしい医学祭を実現することができました。新たに医学会との合同開催や研究の発表など、ス

在まで、新しいコミュニティで新たな人間関係を築いてきました。その中で感じることや大学の講義に刺激を受けながら、充実した日々を送っています。そして人間力の高い医師になるために、これからも日々努力を重ね成長していきたいと思っております。

テージでの催し物以外にも多くの企画を行うことができ、充実した医学祭となりました。医学部の新入生や地域の学生たちの中にはコロナウイルスの影響により学生行事を行えなかった人が多くいたようで久しぶりにイベント開催を開催できましたことを非常にうれしく思います。

今年度の医学祭のテーマは「三位医体へ溢れる医YUMEDを〜」です。本年度も医学祭は医学会との同時開催で行われます。本年度の医学祭が学生・卒業生・関係者の皆様が関わりを深めることのできる場となり、すべての人にとって夢・笑顔・学びが溢れる場

となることを目指します。そのために医学科・看護・検査の3つの学科が1つに、また医学会・学生・病院の3つが1つとなり団結したいという願いを込めて決定いたしました。

今年度もステージ企画のみでなくドクターヘリの展示会やバザー、講演会など様々な企画を行う予定です。新たな試みとして、今年度は酒類の販売も行う予定です。酒類にしまして様々なルールを設けさせていただきます。ご理解・ご

山口大学学長賞ならびに 宇部市補助金採択のご報告

医学科 五年 木村綾佑



この度2023年度山口大学学長賞の受賞、ならびに宇部市SDGの私たちの未来共創補助金の採択を頂きましたことをご報告致します。今回の受賞は山口大学おもしろプロジェクトにおける研究成果によるもので

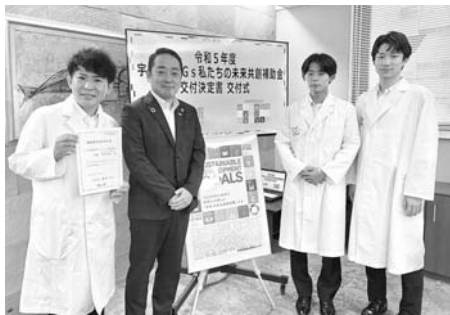
協力のおかげでよりよくお願いいたします。また医学部の学生のみでなく地域の方々にもご来場いただき楽しい時間を過ごしていただけるよう努めて参ります。コロナウイルスによる規制が少しずつ緩和されている状況ではありますが、引き続き対策を怠らず引き締め運営してまいりたいと思っております。

今年度も山口大学医学祭を何卒よろしくお願いいたします。

す。おもしろプロジェクトは1996年に当時の学長であった廣中平佑先生が学生の自主的・創造的企画に対して研究費を助成する山口大学の独自の支援事業として設立されました。その中で私たちのプロジェクトチームは山口県産農産品から作る新医薬品というテーマで研究活動を行い、県産の農産品の中から医学的に有用な成分の探索と生化学的実験を通じた有効性の検

証を進めて参りました。また、宇部市SDGの私たちの未来共創補助金は宇部市のSDGを推進する取り組みに対して助成が行われるもので、おもしろプロジェクトを通じて行われる宇部市の特産品である小野茶の研究や、市内の小中学生を対象とした科学教室の実施などのプログラムについて評価を頂きました。市庁舎で行われた交付式では篠崎市長から激励を頂いた他、市内の事業者の方々の意見交換も行われました。学生が主体となって行う研究に対しての外部研究費の採択は医学部でも初めてのことです。大変身が引き締まる思いであると共に、宇部市をはじめ山口県の農産品に秘められた医学的可能性を探索することに胸を膨らませています。

本プロジェクトではこれまでに47種類の農産品から94サンプルを調整し、その中の3サンプルにおいて口腔がん細胞の抑制と正常細胞のモデルであるヒト上皮角化細胞を増殖させる働きを発見しました。この研究結果から口腔がんの手術後の再発防止と創傷部位の早期治癒を高める可能性が示唆され、がん患者さんの術



後のCOIを高める効果が期待されます。また、今回有効性を示したサンプルの中でも特に効果が顕著であり、かつ安全性の高い青パイヤを原料にヘルスケア食品の開発を行うことで、山口大学発の新医薬品を目指す萌芽的研究についても取り組みを進めております。

プロジェクトのメンバーには医学科の学生のみならず、保健学科の看護学専攻、検査技術学専攻の学生や農学部、院生の他、宇部市内の中学生にも参加して頂くなど、所属や年齢を問わず多様性のあるメンバーと共に活動しています。また、地域の皆様からもプロジェクトへのご支援を頂き、宇部市農業振興課をはじめ、JA山口小野茶業組合、JA山口緑茶センター、萩市物産協会道の駅萩往還、中村自然農園の皆様から農産品の提供や技術協力を頂くなど、産学官連携のオール山口体制で研究に取り組んでおり、本年度も引き続き山口県産の農産品についての研究に励んで参ります。

最後に参りましたが研究活動にご協力頂いた歯科口腔外科学講座の原田耕志講師と学術研究員のTarana

num Fardousさん、三島克章教授、そして長崎国際大学薬学部環境毒性学研究室の佐藤博教授に厚く御礼申し上げます。またプロジェクトに携わってくれた泉本真志君、杉山尚平君をはじめ、サッカー部の個性豊かなメンバーといつも温かく支えて下さる地域の皆様から心より感謝致します。これからも本プロジェクトをよろしく願います。

クラブ紹介

山口大学医学部
少林寺拳法部

医学科 三年

上田 玲



現在、山口大学医学部少林寺拳法部で主将を務めさせて頂いておられます。医学部医学科3年の上田玲と申します。医学部少林寺拳法部では現在6年生2名、5年生1名、3年生2名、1年生4名の9人で活動しております。練習は火

曜日、金曜日の週に2回で、山口大学医学部武道場にて工学部少林寺拳法部と合同で行っております。私たちの練習は鎮魂行から始まります。これは、様々な教典を声に出して心を統一し、気持ち切り替えて修練に臨むことを目的としております。その後、準備体操を行い、突き、蹴り、受け身、単演基本法形などの基本動作や技の練習を行います。練習後には、武道場や仲間への感謝の気持ちを込めて作務を行います。山口大学医学部少林寺拳法部には、年間を通して様々な行事があります。例えば、3月には本学・工学部・工学部の少林寺拳法部での合同合宿、6月には山口県少林寺拳法大会、7月には少林寺拳法中四国学生大会、8月には本部の香川県金剛禅総本山少林寺で夏季大学連盟本部合宿、10月には山口県体育大会少林寺拳法競技が例年行われます。また、部員の技術の向上や修練の成果を発揮する場として、定期的に昇級・昇段考試が開催されています。私たちは昇級・昇段によって自信をつけ、さらなる高みを目指して日々の修練に励んでいます。

一時はコロナ禍で様々な大会・行事が中止となった活動が制限されたりしていましたが、現在では様々な行事が復活し、活動も問題なく行うことができています。このように活動を行うことができているのも、顧問である石原教授をはじめ、監督およびOB・OGの先輩方の多大なるご支援、ご協力のおかげと考えております。常日頃より当部活を気にかけてくださり、誠にありがとうございます。部員一同、より一層修練に励んでまいりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

支部だより

八〇〇字程度の原稿を写真添付の上ご投稿下さい。

北九州支部会

令和5年度の霜仁会北九州支部総会・懇親会を6月22日にアートホテル小倉ニータガワで開催しました。コロナ禍明けの4年ぶりの開催であり、久しぶりにお会いする会員も多く、感慨深い会となりました。今回、大学からは消化器内科学講座の高見太郎教授にお越し頂きました。また本部からは福田進太郎会長と黒川典枝副会長にお越し頂き、また山口大学経済学部、工学部の支部同窓会からも代表者4名が出席されました。今回は支部会員47名の出席があり、来賓を含め総勢54名でした。開会に先立ち、3年間に逝去されました8名の先生に黙祷を捧げた後、支部総会を開会しました。

懇親会では、飯田洋三前支部会により、飯田洋三前支部長の乾杯のご発声をもって開宴しました。今回は昭和39年卒の小宮俊秀先生から令和3年卒中浜雄先生まで、卒業年齢差57年にまたがる先生方の出席があり、歳を超えて和気藹々と歓談して頂きました。アルコー

総会では、令和5年度霜仁会総会が宇部市で盛大に開催され、特に懇親会はマスタナシアルコールありで、お互いの顔を確かめながら、大変楽しく開催されたことを吉田が報告しました。その後、3年間の活動



ルが入ったところで、今回初参加の先生6名より和やかなスピーチを頂き大いに盛り上がりました。

会の締めは小宮俊秀先生の万歳三唱で閉宴としました。その後は、有志でホテル内のバーで二次会となり福田会長、黒川副会長、高見教授には遅くまでお付き合い頂きました。また来年も北九州支部総会ならびに懇親会を開催する予定ですので、多くのご参加をお待ちしております。

当日出席の支部会員は次のとおりです(敬称略)ご出席有難うございました。

- 小宮俊秀 (S39)、平田晴夫 (S40)、飯田洋三 (S45)、加茂洋志 (S45)、小田原満 (S47)、野田健一 (S47)、下河辺勝世 (S49)、川澤修平 (S52)、瀬尾勝弘 (S53)、川井修一 (S54)、近藤正彦 (S54)、酒井和裕 (S54)、吉田智治 (S55)、坂田晃一朗 (S60)、樋脇一久 (S61)、宮脇 宏 (S61)、岸本正道 (S62)、内山幹夫 (S63)、数住宗貴 (S63)、村中健二 (S63)、國廣 充 (H01)、久保善嗣 (H01)、真角 正 (H01)、坂野 滋 (H02)、衛藤隆一 (H03)、進 浩

- 和 (H03)、戸次純一 (H03)、山内雅文 (H03)、祐徳浩紀 (H03)、藤井幸藏 (H04)、豊澤賢明 (H05)、吉本裕紀 (H05)、白石 慶 (S06)、永田健充 (H06)、豊澤祐子 (H07)、近藤 香 (H08)、坪根 徹 (H09)、佐竹真明 (H11)、占部善清 (H13)、白石 龍 (H13)、白井保之 (H14)、西嶋淳 (H17)、生越綾子 (H20)、相部祐希 (H23)、森 純一 (H23)、野口達矢 (H25)、中浜 雄 (R03)

(写真はP16に掲載)

山陰支部会

2019年の山陰支部総会以来、毎年会場の予約、キャンセルを繰り返していましたが、令和5年は総会を開催することが決定しました。ところが、総会1週間前頃から鳥根県、鳥取県のコロナ患者急増に伴い、懇親会は中止、総会のみを出雲市で開催することになってしまいました。

総会のみにも関わらず、本部から福田進太郎霜仁会会長に遠路ご出席を頂きました。懇親会が中止となったことで総会への参加者は

- 矢 (H25)、中浜 雄 (R03) (吉田智治)

少なくなったのではないかと心配していましたが、参加者は16名とまずまずの人数となりました。2019年の支部総会後に赤間宏先生 (S26)、岩本薫先生 (S40)、油木賢一先生 (S49)、須田正道先生 (S29)、森山勝利先生 (2号会員) の5名の先生が亡くなられ、黙祷を捧げたのちに総会を開始しました。事務報告、会計報告を済ませ、会員消息では武田勇先生 (S34) の叙勲、河端哲也先生 (H6) の河端循環器内科医院の開院(出雲市)、花木啓一先生 (S57) の鳥取県立倉吉厚生病院、院長就任 (R5.4.1)、武中篤先生 (S61) の鳥取大学医学部附属病院、院長就任 (R5.4.1) が報告されました。特筆すべきは鳥根大

学医学部環境生理学教授への岸博子先生 (H2) が就任されたことです。岸先生は群馬大学のご出身ですが、山口大学医学部分子細胞生理学講座(旧生理学第一講座、H14.9~R5.4)で研究されていたとのこと

鏡・ロボティクス学会、2023.11.9-11(米子コンベンション他)と(2)第16回日本ロボット外科学会学術集会、2024.2.10-11(米子コンベンション他)の2学会に寄附を致しました。その後、福田会長から「山口大学医学部の最近の現況について」を講演して頂きましたが、丸3年母校の現状が不明であった為、新任教授の多いことや大学の変貌へ驚くばかりでした。

総会終了までに余裕ができたので出席者全員に近況報告をして頂きました。話題の多くは歳をとったこと、コロナ患者が増えていること、若い人の支部総会への参加が少なく、心配しているなどの意見があり、皆さん健康には十分注意をのことでした。

来年こそは総会、懇親会ともに開催できることを願って終了しました。(参加者) 福田進太郎・霜仁会会長 (S54)、土井悌 (S38)、西村新吉・山陰支部支部長 (S40)、西村早苗 (S40)、安達博信 (S47)、入澤淑人 (S48)、大内啓司 (S51)、羽根田紀幸 (S

51)、斎鹿稔 (S53)、石橋豊 (S55)、市本裕康 (S57)、吉山裕規 (S58)、増原昌明 (S61)、飯田博元 (S62)、大西浩二 (H2)、岸博子 (H2) (安達博信)

以後の物故会員、吉永孝富先生 (S25卒)、木畑和正先生 (S52卒)、江上富康先生 (S37卒)、有山重美先生 (S48卒)、金丸吉隆先生 (S31卒)、池田昌三先生 (S31卒)、阿美古秀美先生 (S44卒)、宮村恵宣先生 (S41卒)、土屋公德先生 (S37卒)、緒方正道先生 (S26卒) に黙祷を捧げました。次いで、新入会員、

前田雅喜先生 (H18卒)、内藤伸昭先生 (H31卒)、友景琢人先生 (R3卒)、前田和成先生 (H14卒)、佐野泰照先生 (H9卒)、佐伯幸男先生 (H4卒)、樽本俊介先生 (H20卒)、為佐卓夫先生 (H5卒)、堀田秀文先生 (H2卒)、前川剛志先生 (S47卒)、大崎崇正先生 (R2卒)、岩本拓也先生 (H16卒)、萩谷ゆみ子先生 (H12卒)、村上和華子先生 (H19卒)、亀田正志先生 (H14卒)、野村真治先生 (H10卒)、深光岳先生 (H19卒)、小田隆将先生 (H18卒)、内李紗先生 (H23卒)、奥高行先生 (H14卒)、西村滋彦先生 (H21卒)、



宇部支部会

令和5年度霜仁会宇部支部総会を令和5年7月3日、国際ホテル宇部にて開催しました。出席者は19名でした。司会は吉永榮一先生 (S56卒) が行いました。支部長、福田信二先生 (S48卒) から開会の挨拶の後、引き続き、霜仁会会長、福田進太郎先生 (S54

卒) よりご挨拶と開催のお祝いのお言葉をいただきました。次いで、令和2年度以後の物故会員、吉永孝富先生 (S25卒)、木畑和正先生 (S52卒)、江上富康先生 (S37卒)、有山重美先生 (S48卒)、金丸吉隆先生 (S31卒)、池田昌三先生 (S31卒)、阿美古秀美先生 (S44卒)、宮村恵宣先生 (S41卒)、土屋公德先生 (S37卒)、緒方正道先生 (S26卒) に黙祷を捧げました。次いで、新入会員、前田雅喜先生 (H18卒)、内藤伸昭先生 (H31卒)、友景琢人先生 (R3卒)、前田和成先生 (H14卒)、佐野泰照先生 (H9卒)、佐伯幸男先生 (H4卒)、樽本俊介先生 (H20卒)、為佐卓夫先生 (H5卒)、堀田秀文先生 (H2卒)、前川剛志先生 (S47卒)、大崎崇正先生 (R2卒)、岩本拓也先生 (H16卒)、萩谷ゆみ子先生 (H12卒)、村上和華子先生 (H19卒)、亀田正志先生 (H14卒)、野村真治先生 (H10卒)、深光岳先生 (H19卒)、小田隆将先生 (H18卒)、内李紗先生 (H23卒)、奥高行先生 (H14卒)、西村滋彦先生 (H21卒)、



平木桜夫先生(H1卒)の紹介がありました。議事に移り、まず議長に小野直司先生(S60卒)が選出されました。今回の総会は出席者が19名、委任状の提出者が100名、合計119名、会員総数319名、議決権を有する会員数140名で、140名中119名で過半数を超えており総会は成立している旨、報告されました。吉永榮一先生(S56卒)から令和3〜4年度霜仁会宇部支部の事業報告、江本智子先生(H6卒)から令和3〜4年度霜仁会宇部支部の会計報告、磯部輝雄先生(S43卒)から令和3〜4年度霜

仁会宇部支部の会計決算につきまして監査報告をいただき、いずれも承認されました。次いで、本会をもって福田信二支部長(S48卒)が退任され、後任として梶原浩司(S61卒)が就任することが承認されました。また併せて副支部長の吉永榮一先生(S56卒)、会計監査の磯部輝雄先生(S43卒)も退任されることも公表され、新しく会計監査には吉永榮一先生(S56卒)が就任し、新副支部長は新支部長が指名することで承認されました。新支部長に指名された梶原からご挨拶させていただきます、議事終了となりました。

部輝雄先生(S43卒)に締めたいいただき、閉会と致しました。写真前列左から沖中芳彦(S55卒)、磯部輝雄(S43卒)、梶原浩司(S61卒)、福田信二(S48卒)、白石晃司(H7卒)、福田進太郎(S54卒)、高田千弘(S36卒)、東良輝(S42卒)、渡木邦彦(S44卒)、吉永榮一(S56卒)、後列左から小早川節(H10卒)、鈴木克佳(H7卒)、江本智子(H6卒)、和田尚(S63卒)、内山浩一(H4卒)、清水昭彦(S54卒)、黒川泰(S59卒)、小野直司(S60卒)、若松隆史(S56卒)

記念講演に移り、座長の内山浩一先生(H4卒)の進行で、山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座教授 白石晃司先生より

(梶原浩司)

大阪支部会

「生活習慣病や内分分泌疾患の観点から診る男性不妊症」のタイトルで非常に興味深いご講演を拝聴させていただきました。

写真撮影後、懇親会に移り、若松隆史先生(S56卒)の進行で、乾杯を高田千弘先生(S36卒)にしてください、皆さんテーブルを回りながら和気藹々と懇親を深めました。最後に磯

部輝雄先生(S43卒)に締めたいいただき、閉会と致しました。写真前列左から沖中芳彦(S55卒)、磯部輝雄(S43卒)、梶原浩司(S61卒)、福田信二(S48卒)、白石晃司(H7卒)、福田進太郎(S54卒)、高田千弘(S36卒)、東良輝(S42卒)、渡木邦彦(S44卒)、吉永榮一(S56卒)、後列左から小早川節(H10卒)、鈴木克佳(H7卒)、江本智子(H6卒)、和田尚(S63卒)、内山浩一(H4卒)、清水昭彦(S54卒)、黒川泰(S59卒)、小野直司(S60卒)、若松隆史(S56卒)

てよいでしょうか、同門である年代を超えたつながり、信頼、温もりが感じられました。霜仁会本部より福田先生、西崎先生、吉野先生にご来阪いただきました。霜仁会会長の福田先生、大阪支部長の今井先生より開会のご挨拶、松田先生より乾杯のご発声をいただき、大阪支部会は穏やかにスタートしました。これまでの会は学術講演を行うことが慣例だったようですが、コロナ禍の自粛や久しぶりの開催であったため、福田先生より山口大学医学部の現況についてお話をいただきました。大学病院や医学部関連施設が新しく建て替わり、ドクターヘリ、医学部周辺環境の変化や同門の先生方が日本全国で活躍されていることを聞きし、山口大学を誇りに感じることができました。その後、会はさらなる盛り上がりを見せ、短時間ずつではありますが、自己紹介となりました。ここはさすが大阪！クオリティーの高い話芸によって、自然と笑いが起こる時間となりました。約2時間半の時はあっという間に過ぎ、滝本先生による開



クラス会報告

六二会

2023年8月12日(土) 18時、PZMクラウドンプラザホテル宇部コンフォートにて、昭和62年山口大学医学部卒業生同窓会が開催されました。我々は卒業36年が経ちますが、クラスメートは意外と仲が良く、32名が集まりました。新型コロナウイルス感染の関係で数名が参加できなくなり残念でした。皆さん還暦を過ぎ、責任ある立場で頑張っています。教授職にある、小谷さん、窪田君をはじめ、院長職や行政で活躍されている方もいれば、中には自由気ままに過ごしている方もいました。会では、恵上さんと坂本君が亡くなり、黙とうを捧げました。次に各人が近況を語りましたが、何と話が長いこと。しかし、同級生って、良いですね。皆、じつと聞いてるんですね。36年分の思いを語り合う、大切な時間になりました。あつという間に時間は過ぎ、そのまま2次会へ。同級生は決して敵にならないって、誰かが言っ

楽しいクラス会の様子を八〇〇字程度にまとめて写真を添えてお送りください。

いましたけど、本当ですね。学生時代に戻った気持ちではしゃいで、夜は更けていきました。次回、5年先にまた必ず再会することを誓って解散しました。何度も言いますが、同級生って本当に永遠の親友なんです。(村松慶一)

57会開催予定

令和6年5月末に京都で開催予定！
詳細は年末ごろにお知らせするつもりです。

幹事：全 栄和



北九州支部会



六二会

編集後記

医師の働き方改革は待たなしの状況です。不安や疑念を抱きつつも、これは新たな可能性の扉でもあります。皆で手を取り合い、患者と自身の健康を守りながら、新しい働き方を築いていく時が来しました。議論と提案を歓迎し、共に前進しましょう。霜仁会はこの変革の中で一緒に歩む仲間として結束し、知恵を出し合い、支え合う場所となるでしょう。医療の使命を忘れず、柔軟に未来に向けて歩みましょう。

(河村宜克)

訃報

- 松前禎太郎先生(昭25年卒) 平成30年9月逝去
 - 河野宏佳先生(昭26年卒) 令和2年3月23日逝去
 - 山本慶一郎先生(昭41年卒) 令和4年5月25日逝去
 - 安藤康行先生(昭44年卒) 令和4年8月30日逝去
 - 井餘田直慶先生(昭53年卒) 令和4年9月2日逝去
 - 坂田則昭先生(昭52年卒) 令和5年1月9日逝去
 - 有住 裕先生(昭38年卒) 令和5年2月逝去
 - 林 涼子先生(平6年卒) 令和5年3月3日逝去
 - 瀬尾 幸先生(昭34年卒) 令和5年4月8日逝去
 - 宮原義門先生(昭44年卒) 令和5年5月19日逝去
 - 中山富藏先生(昭50年卒) 令和5年6月逝去
 - 神代 昭先生(名誉会員) 令和5年7月1日逝去
 - 大槻詩朗先生(昭35年卒) 令和5年7月11日逝去
 - 渡邊 裕先生(昭25年卒) 令和5年7月20日逝去
 - 山下 進先生(平8年卒) 令和5年8月3日逝去
- ご冥福をお祈りいたします。

